

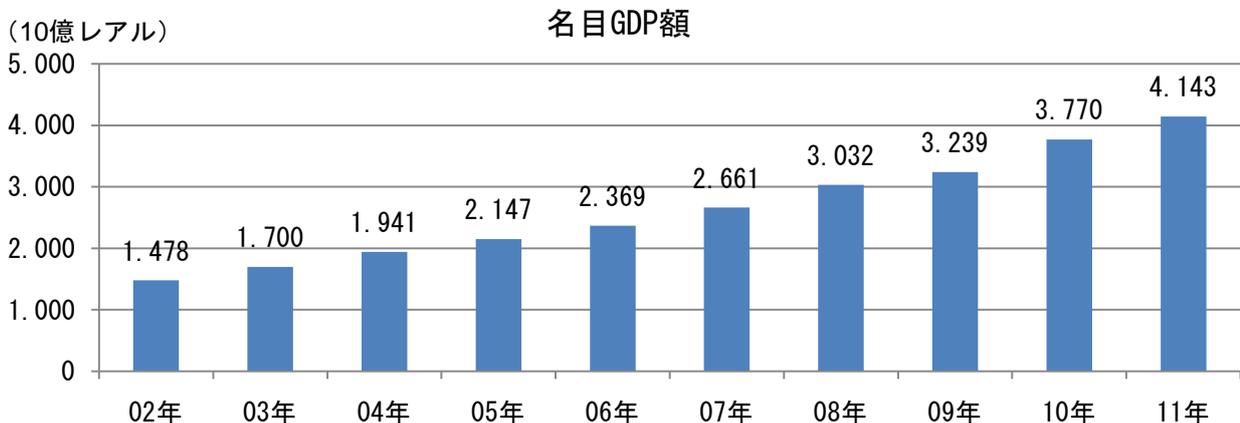
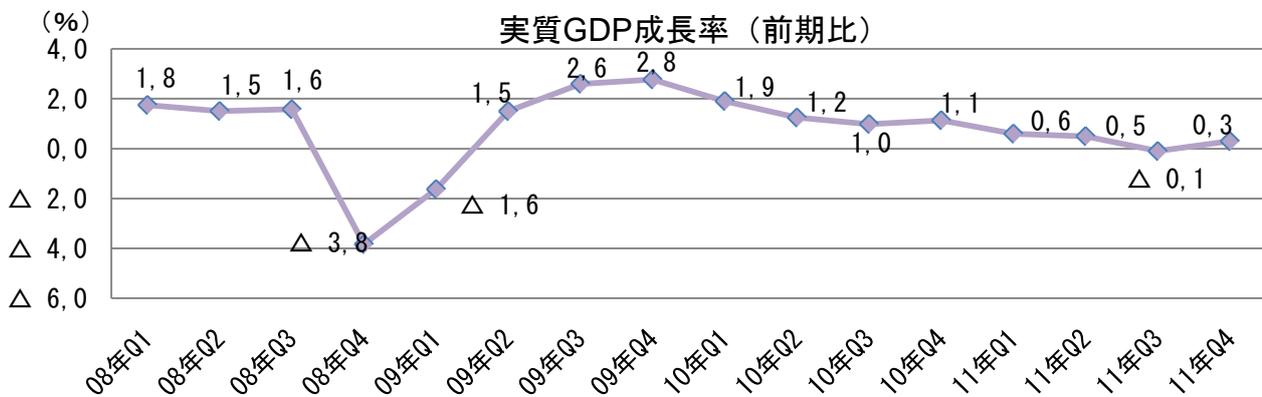
ブラジル経済（概要）

2012年4月

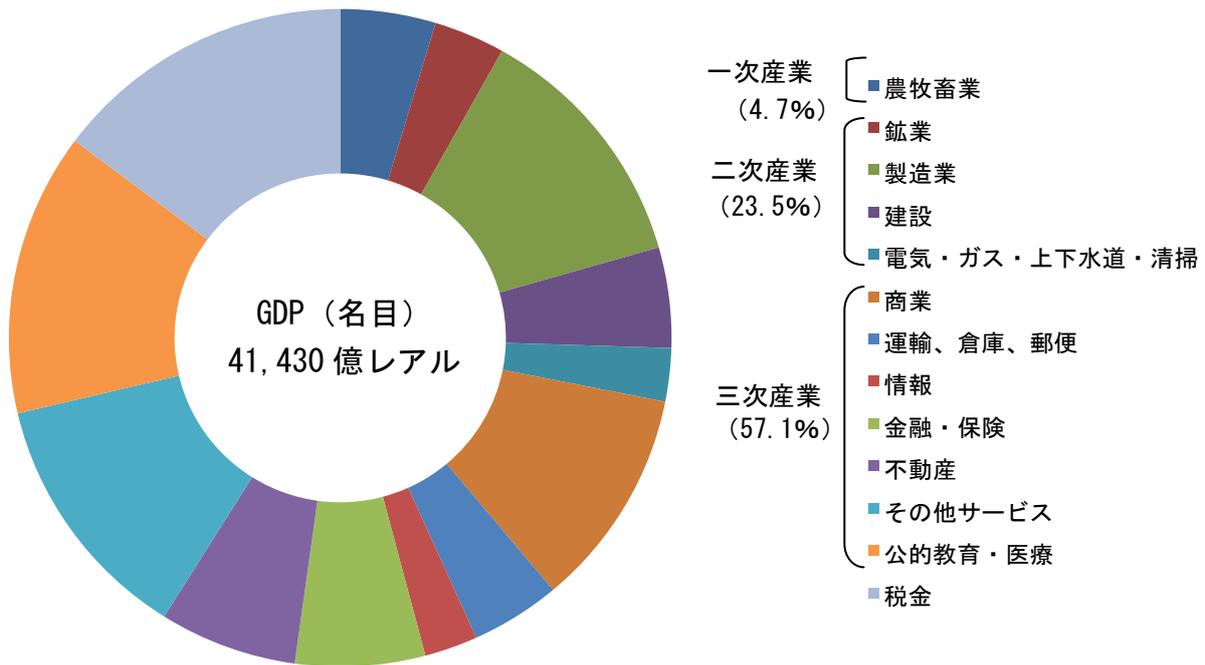
在ブラジル日本国大使館

1. GDP 成長率

2011年の実質GDP率は、2.7%（2010年7.5%）と低調であったものの、ブラジルのGDPは英国を抜いて世界第6位になる見込み。中銀による2012年GDP成長率予測は3.5%。中銀Focus（3月23日）による2012年のGDP成長率予測は3.2%。



2011年セクター別 GDP（名目）構成比



（出所）ブラジル地理統計院（IBGE）

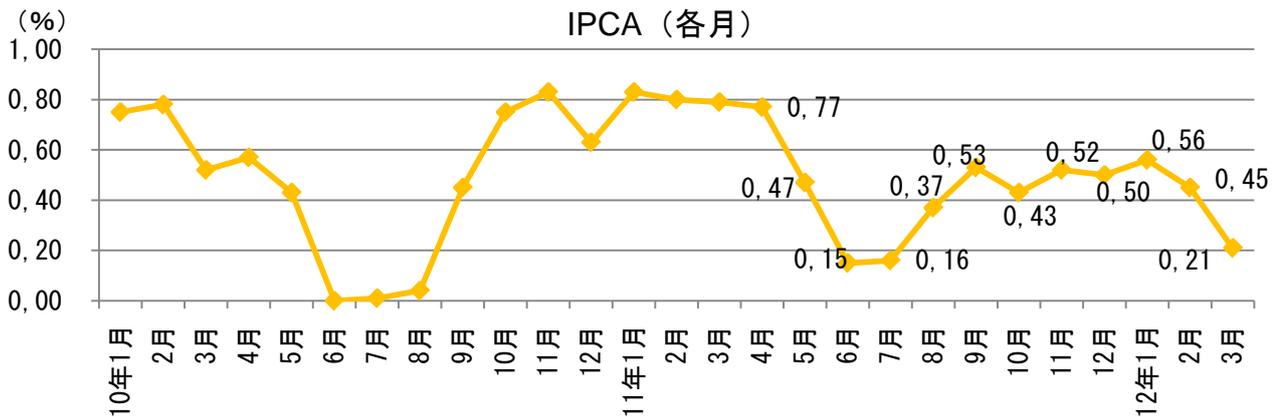
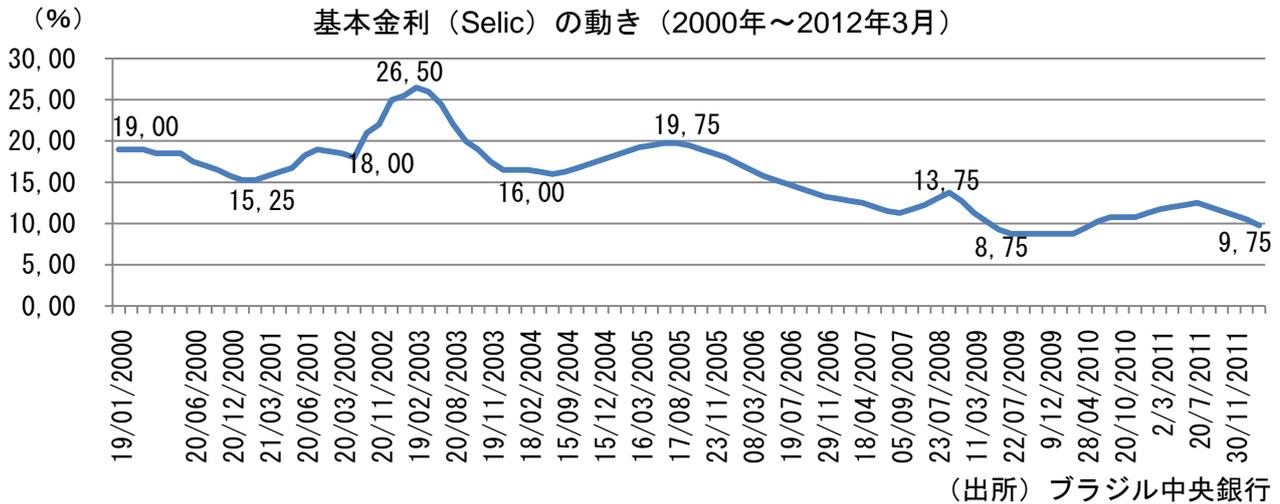
株価指数（Bovespa）



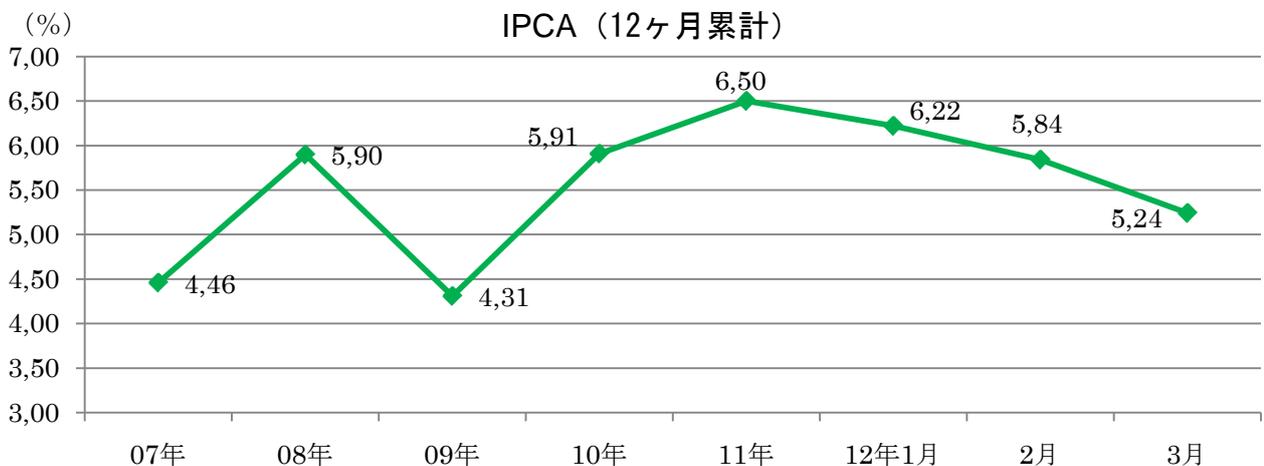
（出所）B&M BOVESPA

2. 金利, インフレ動向

基本金利は、現在 9.75%であり、今後、9.00%まで引き下げられると見られている。IPCA は低下傾向であり、2月の12ヶ月累計は5.85%である。また、中銀は今年のIPCAは年末にかけて低下し、来年から上昇傾向となると予測している。



(出所) ブラジル地理統計院 (IBGE)



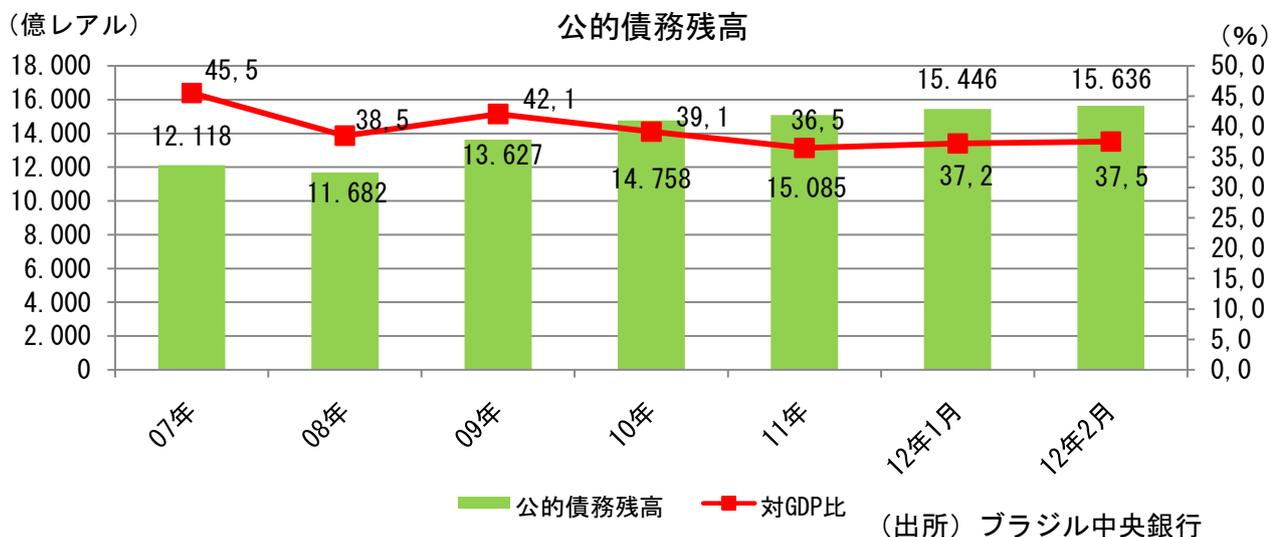
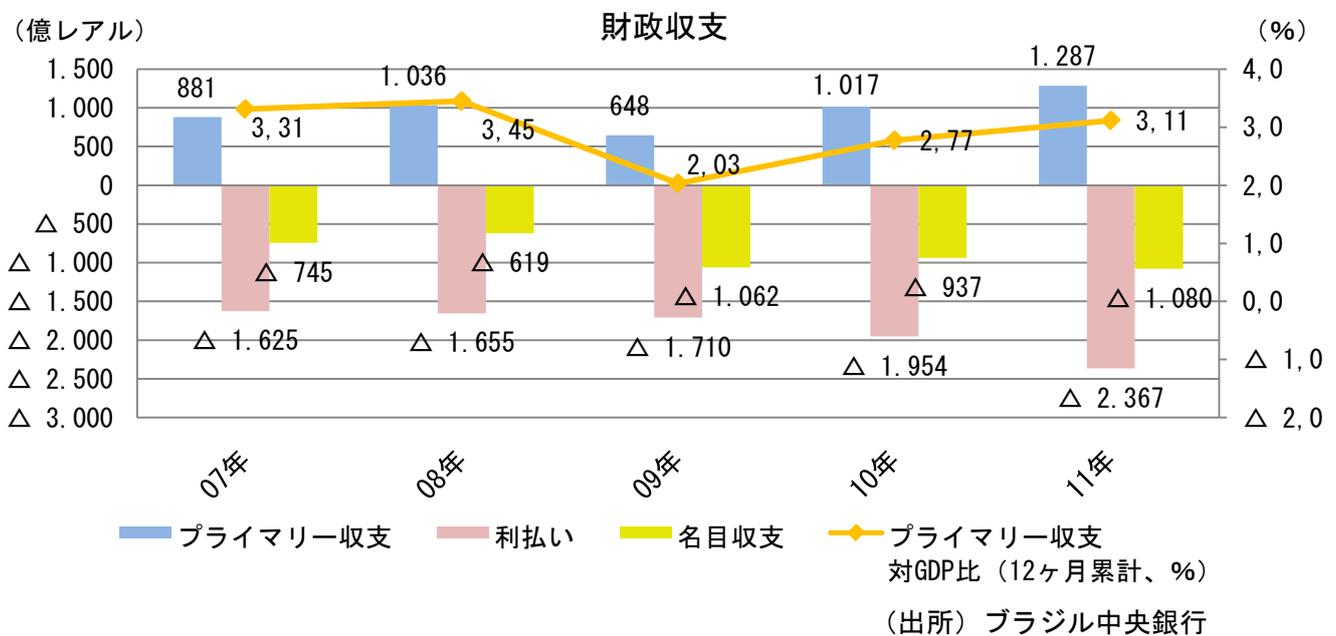
(注) 10年までは12月時点の12ヶ月累計

(出所) ブラジル地理統計院 (IBGE)

3. 財政収支

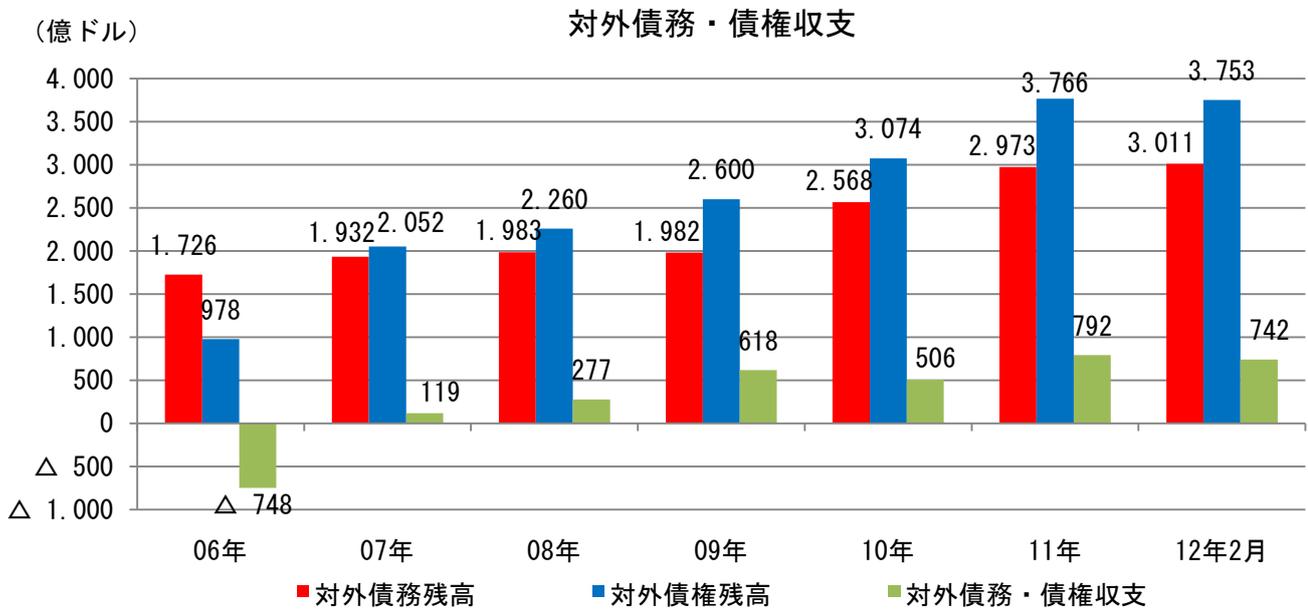
ブラジル政府の財政は、好調な税收等により、順調であり、2011年のプライマリー収支（対GDP比）は+3.11%であった。なお、2012年のプライマリー収支黒字目標は、1398億レアル（対GDP比：3.1%）である。

	12年2月
プライマリー収支(億レアル)	95
利払い(億レアル)	△ 183
名目収支(億レアル)	△ 88
プライマリー収支 対GDP比(12ヶ月累計、%)	3.33



4. 対外債務

過去に大幅な対外債務に苦しんだブラジルであるが、07年に対外債権（外貨準備高、海外融資等）が対外債務を上回り、純債権国となっている。

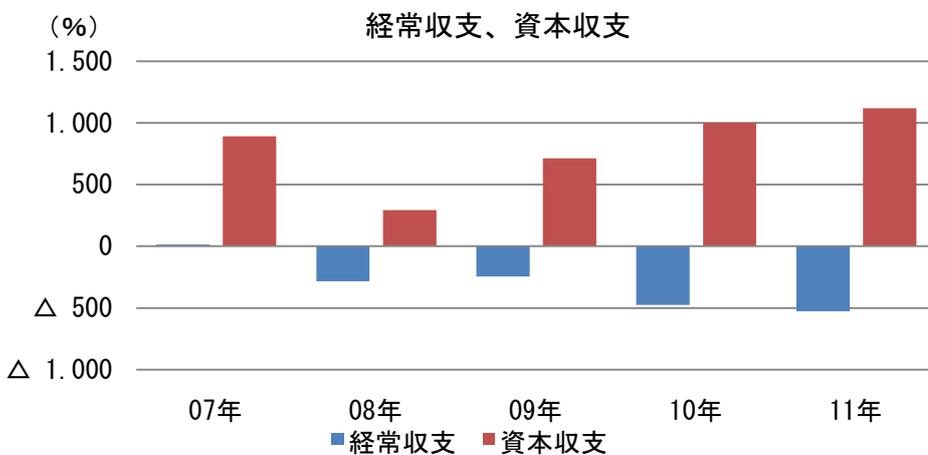


(出所) ブラジル中央銀行

5. 国際収支

2月の企業の利益送金は5億ドルであり、前年同月の28億ドルと比して少なかったものの、海外旅行は引き続き赤字基調であり、△11億ドル（前年同月：△8億ドル）であった。中銀による今年の経常収支予測は△68億ドル。

(単位) 億ドル	07年	08年	09年	10年	11年	12年1~2月
経常収支	16	△ 282	△ 243	△ 475	△ 526	△ 89
貿易収支	400	248	253	203	298	4
サービス・所得収支	△ 425	△ 573	△ 529	△ 706	△ 852	△ 96
経常移転収支	40	42	33	28	28	3
資本収支	891	294	713	1001	1119	104
投資収支	883	283	702	990	1103	102
直接投資	275	246	360	370	760	95
対外直接投資	△ 71	△ 205	101	△ 115	93	4
対内直接投資	346	451	259	485	667	91
証券投資	484	11	503	645	251	40
デリバティブ	△ 7	△ 3	2	△ 1	0	0.1
その他投資	131	29	△ 163	△ 23	92	△ 33
その他資本収支	8	11	11	11	16	2
誤差・脱漏	△ 32	18	△ 3	△ 35	△ 6	3

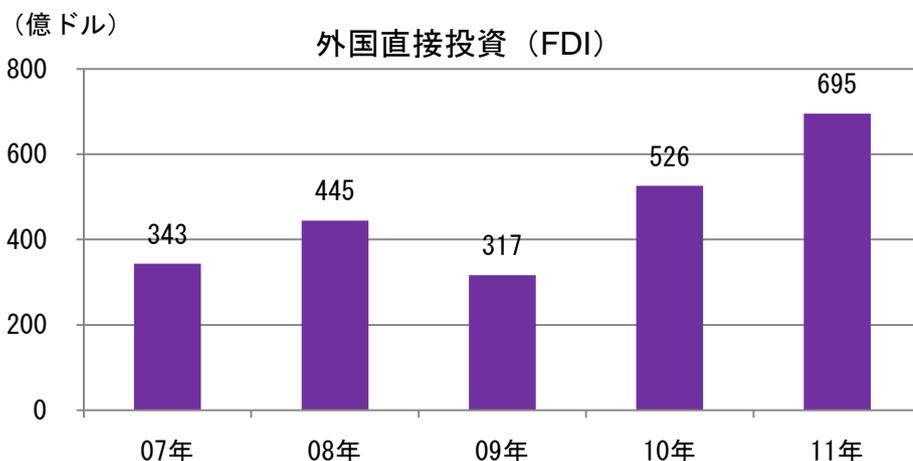


12年1~2月経常収支・資本収支

(億ドル)

経常収支	△ 89
資本収支	104
差額	15

(出所) ブラジル中央銀行



12年1~2月外国直接投資 (FDI)

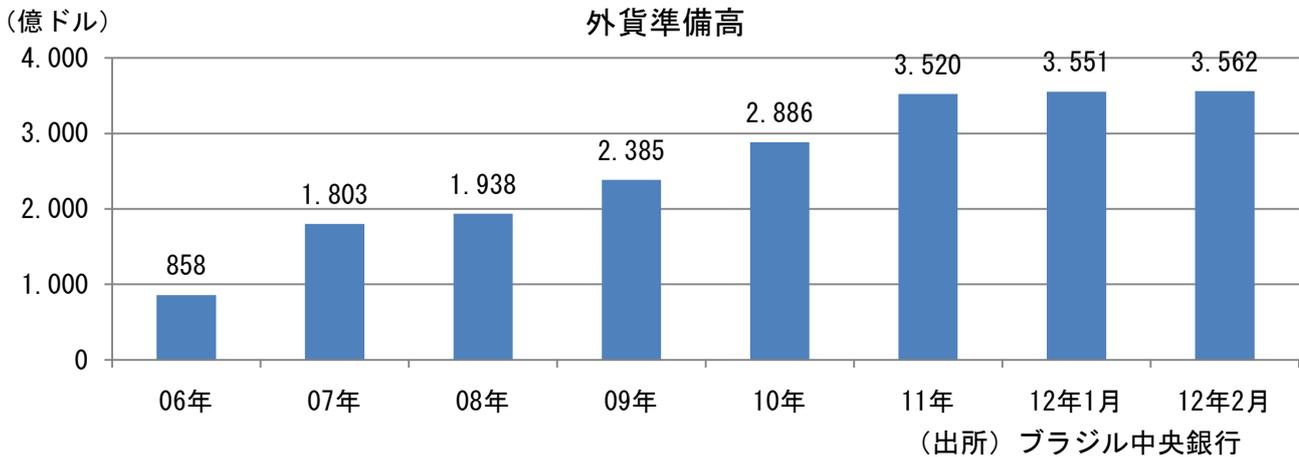
(億ドル)

全体	75
日本	4

(出所) ブラジル中央銀行

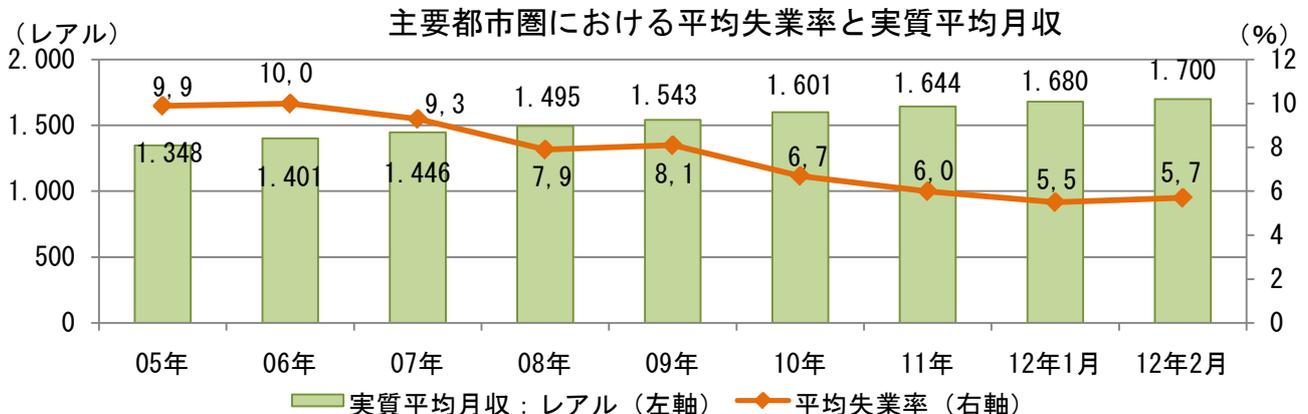
6. 為替, 外貨準備高

3月5日、伯政府は、国内産業を保護するため、外国からの融資に対する金融取引税6%の課税対象を5年以下の融資にまで拡大。3月中旬以降、為替相場は、1ドル=1.8レアル台で推移している。



7. 労働市場

2月の失業率は、5.7%と1月より僅かに上昇。特に、サンパウロとリオデジャネイロの失業率が上昇しており、各々6.1% (先月より+0.6%)、5.7% (先月より+0.8%) であった。



(注) 11年までは平均値

(出所) ブラジル地理統計院 (IBGE)

* 主要都市圏：サンパウロ、リオデジャネイロ、サルバドール、レシフェ、ペロオリゾンチ、ポルトアレグレ